



2024年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年2月6日

上場会社名 ブラザー工業株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 6448 URL <https://global.brother/ja>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 一郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 財務部担当 (氏名) 伊藤 敏宏 TEL 052-824-2075

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業セグメント利益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	612,766	△0.1	61,611	18.6	61,082	3.5	63,314	5.3	46,623	8.5	46,614	8.5
2023年3月期第3四半期	613,474	14.7	51,970	△28.7	59,011	△22.4	60,130	△21.7	42,971	△21.5	42,976	△20.8

(注) 四半期包括利益合計額2024年3月期第3四半期 74,826百万円 (40.6%) 2023年3月期第3四半期 53,221百万円 (△19.4%)
事業セグメント利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	182.38	181.89
2023年3月期第3四半期	167.79	167.29

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	866,713	654,083	654,016	75.5	2,558.75
2023年3月期	850,486	596,680	596,619	70.2	2,334.34

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	34.00	-	34.00	68.00
2024年3月期	-	34.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	34.00	68.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		事業セグメント利益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	820,000	0.6	70,000	15.9	70,000	26.4	70,000	22.9	50,000	27.9	50,000	195.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	257,755,930株	2023年3月期	257,755,930株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	2,155,660株	2023年3月期	2,172,291株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	255,594,709株	2023年3月期3Q	256,131,814株

(注) 当社は、役員報酬BIP信託を用いた業績連動型株式報酬制度を導入しており、当該信託が保有する当社株式（2023年3月期末 258,000株、2024年3月期3Q 250,465株）は、自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績見通しであり、当社としてはその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確定要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

業績予想に関しては、【添付資料】P.5「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

(四半期決算説明会資料の入手方法について)

当社は、2024年2月6日（火）に機関投資家及びアナリスト向け説明会（オンライン説明会）を開催する予定です。当日の説明会資料については、TDnetで同日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書	8
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	10
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	12
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	14
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(報告企業)	15
(作成の基礎)	15
(重要性のある会計方針)	15
(重要な会計上の見積り及び見積りを伴う判断)	15
(セグメント情報)	16
(重要な後発事象)	19

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中における将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において、判断したものであります。

なお、当社グループの業績管理は、事業セグメント損益及び営業損益により行われております。事業セグメント損益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

①当第3四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年12月31日）の業績全般の概況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、ウクライナ情勢や部材及びエネルギー価格の高騰に加え、世界的なインフレや金融引き締めが長期化し、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループに関連する事業環境は、プリンティング市場では、欧米及び中国において市況が低迷しております。マシナリー事業の関連分野は、産業機器においては内需・外需ともに調整局面が継続し、工業用マシンにおいても景気後退の懸念を受け、依然としてアジア向けのアパレル設備投資需要が低迷しております。ドミノ事業の関連分野は、景気減速の影響を受け、設備投資需要が軟化しました。ニッセイ事業の関連分野は、主に中国の市況悪化により、工場の自動化に向けた設備投資の先送りが継続しました。家庭用マシンは、各地域で巣ごもり需要が収束したことに加え、インフレなどの影響を受け、市況が低迷しております。国内におけるカラオケ市場は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、客足の回復が進んでいます。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、P&S事業では、通信・プリンティング機器本体の販売が減少したものの、為替のプラス影響により増収となりました。マシナリー事業では、産業機器、工業用マシンともに市況低迷の影響を受け、大幅な減収となりました。ドミノ事業では、景気減速の影響を受けたものの、為替のプラス影響に加え消耗品全般が堅調に推移し、増収となりました。ニッセイ事業では、設備投資需要の低迷により、減収となりました。P&H事業では、各地域における市況の低迷により、減収となりました。N&C事業では、カラオケ店舗への客足の回復に伴い増収となりました。

これらの結果、売上収益は、前年同期比0.1%減収の6,127億6千6百万円となりました。事業セグメント利益は、販促費及び販管費が増加したものの、物流コストの減少や価格対応の効果に為替のプラス影響が加わり、前年同期比18.6%増益の616億1千1百万円、営業利益は、前年同期比3.5%増益の610億8千2百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比8.5%増益の466億1千4百万円となりました。

*平均為替レート（連結）は次の通りです。

当期	米ドル	: 142.76円	ユーロ	: 155.19円
前年同期	米ドル	: 135.40円	ユーロ	: 140.42円

②当第3四半期連結累計期間の主なセグメント別の状況

1) プリンティング・アンド・ソリューションズ事業

売上収益 3,834億3千1百万円（前年同期比+2.5%）

●通信・プリンティング機器 3,343億8千4百万円（前年同期比+1.6%）

インクジェット複合機は、消耗品が堅調に推移しました。レーザー複合機・プリンターは、消耗品は堅調に推移したものの、製品本体は主に中国や欧米において市況低迷の影響を受け、販売が減少しました。全体では、為替のプラス影響があり、増収となりました。

●ラベリング 490億4千6百万円（前年同期比+8.9%）

供給制約があった前年同期と比較して製品本体が堅調に推移したことに加え、為替のプラス影響により、増収となりました。

事業セグメント利益 499億6千8百万円（前年同期比+55.9%）

営業利益 489億7千5百万円（前年同期比+50.2%）

販促費及び販管費が増加したものの、物流コストの減少や消耗品の売上増、価格対応の効果に為替のプラス影響も加わり、大幅な増益となりました。

2) マシナリー事業

売上収益 578億7千4百万円 (前年同期比△20.8%)

●産業機器 310億6千2百万円 (前年同期比△31.1%)

中国を中心に自動車・一般機械市場向けの設備投資需要が低迷し、大幅な減収となりました。

●工業用ミシン 268億1千1百万円 (前年同期比△4.2%)

工業用ミシンは、アジアのアパレル向け設備投資需要が引き続き低調に推移し、堅調だった前年同期と比較して販売が大幅に減少しました。一方で、ガーメントプリンターは、主に米州で販売が増加しました。全体では、為替のプラス影響があったものの、減収となりました。

事業セグメント利益 25億4千8百万円 (前年同期比△68.3%)

営業利益 26億4千6百万円 (前年同期比△68.7%)

減収により、大幅な減益となりました。

3) ドミノ事業

売上収益 804億4千万円 (前年同期比+8.3%)

景気減速の影響を受け製品本体の販売は減少したものの、為替のプラス影響に加え、消耗品全般が堅調に推移し、増収となりました。

事業セグメント利益 44億6千1百万円 (前年同期比+9.9%)

営業利益 37億9千8百万円 (前年同期比△5.7%)

事業セグメント利益は、営業活動の強化や基幹業務システムの刷新に伴い販管費が増加したものの、増収効果などにより、増益となりました。営業利益は、為替差損があり減益となりました。

4) ニッセイ事業

売上収益 158億6千6百万円 (前年同期比△11.7%)

設備投資需要の低迷により、減速機・歯車ともに販売が低調に推移し、減収となりました。

事業セグメント利益 9億4千9百万円 (前年同期比△49.1%)

営業利益 9億6百万円 (前年同期比△53.3%)

減収により、大幅な減益となりました。

5) パーソナル・アンド・ホーム事業

売上収益 377億4千2百万円 (前年同期比△4.6%)

為替のプラス影響があったものの、各地域における市況の低迷により、主に中高級機の販売が減少し、減収となりました。

事業セグメント利益 13億6千7百万円 (前年同期比△71.3%)

営業利益 13億円 (前年同期比△73.5%)

中高級機の販売減少による製品ミックスの悪化や販促費及び販管費の増加などにより、大幅な減益となりました。

6) ネットワーク・アンド・コンテンツ事業

売上収益 284億7千7百万円 (前年同期比+9.5%)

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う客足の回復により、カラオケ店舗の売上が増加し、増収となりました。

事業セグメント利益 15億6千7百万円 (前年同期比+201.6%)

営業利益 17億2千8百万円 (前年同期比+75.9%)

増収効果により、大幅な増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び資本の状況)

資産合計は、棚卸資産、その他の流動資産が減少した一方、現金及び現金同等物、有形固定資産、のれん及び無形資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ162億2千7百万円増加し、8,667億1千3百万円となりました。

負債合計は、営業債務及びその他の債務、社債及び借入金が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ411億7千5百万円減少し、2,126億3千万円となりました。

資本合計は、在外営業活動体の換算差額の影響などにより、前連結会計年度末に比べ574億2百万円増加し、6,540億8千3百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

キャッシュ・フローの状況については、現金及び現金同等物（以下「資金」）は、営業活動により1,042億3百万円増加、投資活動により326億4千8百万円減少、財務活動により594億9千1百万円減少等の結果、当第3四半期連結会計期間末は前連結会計年度末と比べ142億9千9百万円増加し、1,333億4千2百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は、次の通りです。

1) 営業活動によるキャッシュ・フロー

税引前四半期利益は633億1千4百万円で、減価償却費及び償却費349億9千7百万円など、非資金損益の調整などによる資金の増加、営業債権及びその他の債権の減少による資金の増加64億8千7百万円、棚卸資産の減少による資金の増加219億3千3百万円、営業債務及びその他の債務の減少による資金の減少182億3千万円などがあり、法人所得税の支払額52億1千万円などを差し引いた結果、1,042億3百万円の資金の増加となりました。

2) 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出278億5千7百万円、無形資産の取得による支出66億2千2百万円、負債性金融商品の売却又は償還による収入68億8千3百万円などにより、326億4千8百万円の資金の減少となりました。

3) 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の増減による支出156億1千3百万円、長期借入金の返済による支出199億9千7百万円、リース負債の返済による支出64億5千8百万円、配当金の支払額174億2千1百万円などにより、594億9千1百万円の資金の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期業績予想につきましては、事業ごとに若干変動の可能性のあるものの、2023年11月7日に公表した内容から変更ありません。通期連結業績予想の前提となる予想部分の為替レートにつきましても、1米ドル=145円、1ユーロ=150円と前回から変更ありません。

(単位：億円)

	2024年3月期 予想 (A)	2023年3月期 実績 (B)	増減率 (A/B - 1)
売上収益	8,200	8,153	0.6%
事業セグメント利益	700	604	15.9%
営業利益	700	554	26.4%
税引前利益	700	570	22.9%
当期利益	500	391	27.9%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	500	391	27.9%
為替レート (円)			
米ドル	143.03	134.95	
ユーロ	154.54	141.24	

※上記表内の為替レートは、年間の平均レートです。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2023年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	119,042	133,342
営業債権及びその他の債権	123,260	123,129
その他の金融資産	10,867	7,151
棚卸資産	222,133	211,587
その他の流動資産	36,441	28,631
流動資産合計	511,746	503,842
非流動資産		
有形固定資産	128,496	137,263
使用権資産	25,002	30,500
投資不動産	6,217	5,953
のれん及び無形資産	114,220	120,460
持分法で会計処理されている投資	2,006	2,123
その他の金融資産	29,497	29,813
繰延税金資産	20,818	21,316
その他の非流動資産	12,480	15,441
非流動資産合計	338,740	362,871
資産合計	850,486	866,713

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2023年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	82,755	65,259
社債及び借入金	36,823	3
その他の金融負債	9,387	10,092
未払法人所得税	5,472	8,832
引当金	4,031	5,250
契約負債	6,556	7,094
その他の流動負債	56,249	56,639
流動負債合計	201,276	153,172
非流動負債		
社債及び借入金	600	600
その他の金融負債	23,105	28,240
退職給付に係る負債	14,997	16,346
引当金	3,593	3,732
繰延税金負債	7,055	7,043
契約負債	2,049	2,303
その他の非流動負債	1,127	1,191
非流動負債合計	52,529	59,457
負債合計	253,806	212,630
資本		
資本金	19,209	19,209
資本剰余金	17,849	17,815
利益剰余金	568,055	597,503
自己株式	△3,533	△3,495
その他の資本の構成要素	△4,962	22,982
親会社の所有者に帰属する持分合計	596,619	654,016
非支配持分	60	66
資本合計	596,680	654,083
負債及び資本合計	850,486	866,713

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上収益	613,474	612,766
売上原価	△373,351	△348,423
売上総利益	240,123	264,343
販売費及び一般管理費	△188,153	△202,731
その他の収益	9,238	3,619
その他の費用	△2,197	△4,149
営業利益	59,011	61,082
金融収益	5,369	4,993
金融費用	△4,459	△2,992
持分法による投資損益	209	231
税引前四半期利益	60,130	63,314
法人所得税費用	△17,159	△16,690
四半期利益	42,971	46,623
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	42,976	46,614
非支配持分	△5	9
四半期利益	42,971	46,623
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	167.79	182.38
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	167.29	181.89

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上収益	216,807	213,133
売上原価	△135,296	△122,343
売上総利益	81,511	90,790
販売費及び一般管理費	△65,462	△69,870
その他の収益	7,029	1,297
その他の費用	△1,534	△862
営業利益	21,543	21,354
金融収益	1,900	1,250
金融費用	△1,614	△393
持分法による投資損益	93	103
税引前四半期利益	21,922	22,315
法人所得税費用	△9,210	△4,602
四半期利益	12,711	17,712
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	12,718	17,712
非支配持分	△6	△0
四半期利益	12,711	17,712
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	49.77	69.30
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	49.63	69.11

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期利益	42,971	46,623
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融商品	△1,349	258
純損益に振替えられることのない項目合計	△1,349	258
純損益に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	11,600	27,944
純損益に振替えられる可能性のある項目合計	11,600	27,944
税引後その他の包括利益	10,250	28,202
四半期包括利益	53,221	74,826
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	53,226	74,817
非支配持分	△5	9
四半期包括利益	53,221	74,826

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期利益	12,711	17,712
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融商品	△364	△951
純損益に振替えられることのない項目合計	△364	△951
純損益に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△25,346	△15,531
純損益に振替えられる可能性のある項目合計	△25,346	△15,531
税引後その他の包括利益	△25,710	△16,482
四半期包括利益	△12,998	1,229
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△12,991	1,229
非支配持分	△6	△0
四半期包括利益	△12,998	1,229

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本 の構成要素
	百万円	百万円	百万円	百万円	在外営業活動 体の換算差額 百万円
2022年4月1日時点の残高	19,209	17,866	554,910	△5,428	△25,411
四半期利益	—	—	42,976	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	11,600
四半期包括利益合計	—	—	42,976	—	11,600
自己株式の取得	—	—	—	△7,005	—
自己株式の処分	—	△48	△7	55	—
自己株式の消却	—	△149	△8,740	8,889	—
配当金	—	—	△17,510	—	—
株式に基づく報酬取引	—	136	—	△136	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	△1,349	—	—
所有者との取引額等合計	—	△61	△27,607	1,803	—
2022年12月31日時点の残高	19,209	17,805	570,279	△3,624	△13,811

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素		合計	非支配持分	合計
	その他の包括利益を通じて公正 価値で測定する 資本性金融商品	合計			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年4月1日時点の残高	—	△25,411	561,146	65	561,211
四半期利益	—	—	42,976	△5	42,971
その他の包括利益	△1,349	10,250	10,250	0	10,250
四半期包括利益合計	△1,349	10,250	53,226	△5	53,221
自己株式の取得	—	—	△7,005	—	△7,005
自己株式の処分	—	—	0	—	0
自己株式の消却	—	—	—	—	—
配当金	—	—	△17,510	△6	△17,516
株式に基づく報酬取引	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	1,349	1,349	—	—	—
所有者との取引額等合計	1,349	1,349	△24,515	△6	△24,521
2022年12月31日時点の残高	—	△13,811	589,857	53	589,911

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本 の構成要素
	百万円	百万円	百万円	百万円	在外営業活動 体の換算差額 百万円
2023年4月1日時点の残高	19,209	17,849	568,055	△3,533	△4,962
四半期利益	—	—	46,614	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	27,944
四半期包括利益合計	—	—	46,614	—	27,944
自己株式の取得	—	—	—	△4	—
自己株式の処分	—	△38	△2	41	—
配当金	—	—	△17,421	—	—
株式に基づく報酬取引	—	3	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	258	—	—
所有者との取引額等合計	—	△34	△17,165	37	—
2023年12月31日時点の残高	19,209	17,815	597,503	△3,495	22,982

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素		合計	非支配持分	合計
	その他の包括利 益を通じて公正 価値で測定する 資本性金融商品	合計			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年4月1日時点の残高	—	△4,962	596,619	60	596,680
四半期利益	—	—	46,614	9	46,623
その他の包括利益	258	28,202	28,202	0	28,202
四半期包括利益合計	258	28,202	74,817	9	74,826
自己株式の取得	—	—	△4	—	△4
自己株式の処分	—	—	0	—	0
配当金	—	—	△17,421	△3	△17,424
株式に基づく報酬取引	—	—	3	—	3
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	△258	△258	—	—	—
所有者との取引額等合計	△258	△258	△17,420	△3	△17,423
2023年12月31日時点の残高	—	22,982	654,016	66	654,083

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	60,130	63,314
減価償却費及び償却費	31,454	34,997
金融収益及び金融費用 (△は益)	△910	△2,000
持分法による投資損益 (△は益)	△209	△231
固定資産除売却損益 (△は益)	△4,892	367
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△19,395	6,487
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△48,045	21,933
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	1,214	△18,230
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△1,724	△1,512
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	307	611
その他	△1,793	1,256
小計	16,138	106,993
利息の受取額	1,546	2,676
配当金の受取額	395	464
利息の支払額	△731	△719
法人所得税の支払額	△31,535	△5,210
営業活動によるキャッシュ・フロー	△14,187	104,203
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△20,505	△27,857
有形固定資産の売却による収入	1,467	510
無形資産の取得による支出	△7,985	△6,622
投資不動産の売却による収入	6,500	—
資本性金融商品の取得による支出	△934	△840
資本性金融商品の売却による収入	10	1
負債性金融商品の取得による支出	△1,794	△3,541
負債性金融商品の売却又は償還による収入	3,737	6,883
事業の取得による支出	—	△157
その他	△1,013	△1,025
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,517	△32,648
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	21,514	△15,613
長期借入金の返済による支出	△19,997	△19,997
リース負債の返済による支出	△6,458	△6,458
配当金の支払額	△17,510	△17,421
自己株式の取得による支出	△7,003	△2
非支配持分への配当金の支払額	△6	△3
その他	0	4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29,461	△59,491
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	3,983	2,236
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△60,183	14,299
現金及び現金同等物の期首残高	167,915	119,042
現金及び現金同等物の四半期末残高	107,731	133,342

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(報告企業)

ブラザー工業株式会社（以下、「当社」）は日本に所在する株式会社であります。当社の要約四半期連結財務諸表は、当社及びその子会社（以下、「当社グループ」）、並びに当社の関連会社に対する持分により構成されております。

当社グループが営む主な事業内容は、プリンティング・アンド・ソリューションズ事業、マシナリー事業、ドミノ事業、ニッセイ事業、パーソナル・アンド・ホーム事業、ネットワーク・アンド・コンテンツ事業及びその他事業の7事業であります。各事業の内容については注記「セグメント情報」に記載しております。

(作成の基礎)

(1) IFRSに準拠している旨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）第1条の2の「指定国際会計基準特定会社」の要件を満たすことから、同第93条の規定により、国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して作成しております。

要約四半期連結財務諸表は、年次連結財務諸表で要求されているすべての情報が含まれていないため、前連結会計年度の連結財務諸表と併せて利用されるべきものであります。

(2) 機能通貨及び表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(重要性のある会計方針)

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要性のある会計方針は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、要約四半期連結財務諸表における法人所得税費用は、税引前四半期利益に対して、見積平均年次実効税率を用いて算定しております。

(重要な会計上の見積り及び見積りを伴う判断)

IFRSに準拠した要約四半期連結財務諸表の作成において、経営者は、会計方針の適用並びに資産、負債、収益及び費用の金額に影響を及ぼす判断、見積り及び仮定を行うことが要求されております。実際の業績は、これらの見積りとは異なる場合があります。

見積り及びその基礎となる仮定は継続して見直されます。会計上の見積りの見直しによる影響は、見積りを見直した会計期間及びそれ以降の将来の会計期間において認識されます。

経営者が行った本要約四半期連結財務諸表の金額に重要な影響を与える見積り及び判断は、前連結会計年度に係る連結財務諸表と同様であります。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは報告セグメントを事業別とし、「プリンティング・アンド・ソリューションズ事業」、「マシナリー事業」、「ドミノ事業」、「ニッセイ事業」、「パーソナル・アンド・ホーム事業」、「ネットワーク・アンド・コンテンツ事業」、「その他事業」の7つにおいて、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し事業活動を展開しております。

報告セグメントの損益は、営業損益をベースとしております。また、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除した事業セグメント損益についても、報告セグメントごとに開示しております。

(2) セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下の通りであります。

なお、セグメント間の売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

報告セグメント

	プリンティング・ アンド・ ソリューションズ	マシナリー	ドミノ	ニッセイ	パーソナル ・アン ド・ ホーム	ネット ワーク・ アンド・ コンテ ンツ	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益										
外部収益	374,235	73,103	74,305	17,972	39,544	26,017	8,295	613,474	—	613,474
セグメント間収益	—	—	—	—	—	—	8,624	8,624	△8,624	—
収益合計	374,235	73,103	74,305	17,972	39,544	26,017	16,920	622,099	△8,624	613,474
事業セグメント利益	32,041	8,041	4,060	1,864	4,763	519	708	51,998	△28	51,970
その他の収益及びその他の費用	575	409	△31	77	138	462	5,409	7,041	—	7,041
営業利益	32,616	8,450	4,029	1,941	4,901	982	6,117	59,039	△28	59,011
金融収益及び金融費用										910
持分法による投資損益										209
税引前四半期利益										60,130

その他の項目

報告セグメント

	プリンティング・ アンド・ ソリューションズ	マシナリー	ドミノ	ニッセイ	パーソナル ・アン ド・ ホーム	ネット ワーク・ アンド・ コンテ ンツ	その他 (注) 1	合計	調整額	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
減損損失	43	—	—	0	—	0	—	44	—	44

(注) 1. その他には不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント損益（営業損益）の調整額△28百万円はセグメント間取引消去であります。

当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

報告セグメント

	プリンテ ィング・ アンド・ ソリュー ションズ	マシナリ ー	ドミノ	ニッセイ	パーソ ナル ・アン ド・ ホーム	ネット ワーク・ アンド・ コンテン ツ	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益										
外部収益	383,431	57,874	80,440	15,866	37,742	28,477	8,933	612,766	—	612,766
セグメント間収 益	—	—	—	—	—	—	9,388	9,388	△9,388	—
収益合計	383,431	57,874	80,440	15,866	37,742	28,477	18,322	622,154	△9,388	612,766
事業セグメント利 益	49,968	2,548	4,461	949	1,367	1,567	797	61,661	△50	61,611
その他の収益及 びその他の費用	△993	97	△662	△42	△67	160	978	△529	—	△529
営業利益	48,975	2,646	3,798	906	1,300	1,728	1,776	61,132	△50	61,082
金融収益及び 金融費用										2,000
持分法による 投資損益										231
税引前四半期利益										63,314

その他の項目

報告セグメント

	プリンテ ィング・ アンド・ ソリュー ションズ	マシナリ ー	ドミノ	ニッセイ	パーソ ナル ・アン ド・ ホーム	ネット ワーク・ アンド・ コンテン ツ	その他 (注) 1	合計	調整額	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
減損損失	—	—	—	—	—	2	—	2	—	2

(注) 1. その他には不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント損益（営業損益）の調整額△50百万円はセグメント間取引消去であります。

前第3四半期連結会計期間（自 2022年10月1日 至 2022年12月31日）

報告セグメント

	プリンテ	マシンナ	ドミノ	ニッセイ	パーソ	ネット	その他	合計	調整額 (注) 2	連結
	ィング・	リー			ナル	ワーク・	(注) 1			
	ソリュー				・アン	アンド・				
	ションズ				ド・	コンテン				
					ホーム	ツ				
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益										
外部収益	133,729	25,702	25,453	6,054	13,709	9,068	3,088	216,807	—	216,807
セグメント間収益	—	—	—	—	—	—	3,239	3,239	△3,239	—
収益合計	133,729	25,702	25,453	6,054	13,709	9,068	6,327	220,046	△3,239	216,807
事業セグメント利益	9,085	2,761	1,106	661	2,073	151	229	16,068	△19	16,048
その他の収益及びその他の費用	1,155	△141	△815	△8	14	△48	5,339	5,494	—	5,494
営業利益	10,241	2,619	291	652	2,087	103	5,568	21,563	△19	21,543
金融収益及び金融費用										285
持分法による投資損益										93
税引前四半期利益										21,922

その他の項目

報告セグメント

	プリンテ	マシンナ	ドミノ	ニッセイ	パーソ	ネット	その他	合計	調整額	連結
	ィング・	リー			ナル	ワーク・	(注) 1			
	ソリュー				・アン	アンド・				
	ションズ				ド・	コンテン				
					ホーム	ツ				
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
減損損失	43	—	—	—	—	—	—	43	—	43

(注) 1. その他には不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント損益（営業損益）の調整額△19百万円はセグメント間取引消去であります。

当第3四半期連結会計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメント

	プリンテ ィング・ アンド・ ソリュー ションズ	マシナリ ー	ドミノ	ニッセイ	パーソナ ル ・アン ド・ ホーム	ネット ワーク・ アンド・ コンテン ツ	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益										
外部収益	134,602	18,722	26,580	5,333	14,078	10,399	3,416	213,133	—	213,133
セグメント間収 益	—	—	—	—	—	—	3,640	3,640	△3,640	—
収益合計	134,602	18,722	26,580	5,333	14,078	10,399	7,057	216,774	△3,640	213,133
事業セグメント利 益	16,408	670	678	363	1,765	615	463	20,965	△46	20,919
その他の収益及 びその他の費用	548	△79	△451	1	△51	17	451	435	—	435
営業利益	16,956	591	227	364	1,714	632	915	21,401	△46	21,354
金融収益及び 金融費用										856
持分法による 投資損益										103
税引前四半期利益										22,315

その他の項目

報告セグメント

	プリンテ ィング・ アンド・ ソリュー ションズ	マシナリ ー	ドミノ	ニッセイ	パーソナ ル ・アン ド・ ホーム	ネット ワーク・ アンド・ コンテン ツ	その他 (注) 1	合計	調整額	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
減損損失	—	—	—	—	—	2	—	2	—	2

(注) 1. その他には不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント損益(営業損益)の調整額△46百万円はセグメント間取引消去であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。